



まちの話題



100歳の祝福を受ける北條ヒサさん



祝 家族に囲まれ笑顔で祝福 元気100歳

北條ヒサさん＝永栄西根岸＝は2月6日、満100歳の誕生日を迎えました。ヒサさんは18歳の時に故・一美さんと結婚。農業に汗を流しながら6人の子どもを育て、孫6人、ひ孫7人、玄孫1人に恵まれました。趣味は夫と熱中したゲートボールで90歳を超えても自転車を通うほどでした。長寿の秘訣は「よく食べる」というヒサさんは、この日祝福を受け「こんなにお祝いしてもらいなんとも言えない気持ち。このまま元気でいたいな」と笑顔で話していました。

雪上土俵で相撲を楽しむ子どもたち



豪 子ども雪まつり in 和光 雪地に響く歓声

和光地区活性化協議会では2月9日から10日の2日間、「子ども雪まつり in 和光」を開催しました。雪まつりは、雪深い和光の地域特性を生かし地区外から多くの人に足を運んでもらい地域活性化につなげようと今年初めて企画。9日はそり大会、10日は相撲大会が行われたほか、ホットミルクの振る舞いやスノーモービルの無料体験などで来場者を楽しませました。同協議会倉田和弘会長は「このイベントをきっかけに和光の魅力を感じてもらえれば」と話していました。

大学生とスケートを楽しむ参加者たち



大 スケートの魅力伝える 大学生とスケート交流会

青山学院大学アイススケート部は2月6日、みどりの郷アイスアリーナでスケート交流会を開催しました。金ケ崎町に合宿に訪れていた同部は、スケートの魅力を知ってもらいたいと交流会を開催。交流会は子どもから大人まで22人が参加し、部員の丁寧な指導のもと上達の喜びを感じスケートを楽しみました。

六 リノベーションまちづくり勉強会 原駅周辺のこれから考える

金ケ崎町では1月30日、六原駅周辺リノベーションまちづくり勉強会を開催しました。3月までに全5回開催し、リノベーションまちづくりの手法を学びます。この日は住民や関係者60人が参加し、講演や実際に六原駅周辺のまち歩きを行いながら理解を深め、これからのまちづくりについて考えました。



リノベーションについての講演の様子

ボランティアで訪れた大学生と列車を夢中で作る子どもたち



も たくましかねがさきっ子育て推進大会 のづくりの楽しさ学ぶ

たくましかねがさきっ子育て推進大会は1月19日、中央生涯教育センターで行われました。大会は、中学生による詩の朗読や自治会等の事例発表、「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さについての基調講演が行われました。同時開催イベントの「つくってはしろう空想列車」では子どもたちがものづくりを楽しみました。

軍 軍馬の郷六原資料館 馬の親子がお出迎え

軍馬の郷六原資料館では2月4日、来館者に当時の雰囲気を楽しんでもらおうとわら製の馬を設置しました。馬の制作に取り組んだ同資料館運営協議会会員の及川治さんは「今の子どもたちは馬を身近で見る機会がほとんどない。これを見て子どもたちに喜んでもらうことが願い」と思いを込めていました。



資料館前に設置された親子の馬